

## 下柚木アローズ少年少女野球部 チームに期待すること

一人一人が目標を持ち努力することは、非常に大事な事である。自分自身の守備力・攻撃力の向上につながる。「今日の目標」、「一週間の目標」、「一ヶ月の目標」、「一年の目標」、目標を持ち意識して達成に向けて努力する。

しかし、努力することは、何かを我慢して取り組む、何かを犠牲にして頑張ると言うイメージがある。それで結果が伴うと、努力が報われたと言うし、結果が伴わないと、努力が足りないと言う事になる。野球が好きで上達したくて夢中になって練習する。好きだから頑張れる。夢中とは、つらい、きついなんて思わない強靱な力の源・原動力だと思う。夢中になり時間を忘れ、ひたすら野球に打ち込む。そんなチームでありたい。そして時には、野球が好きか、と自分自身に聞いてみてほしい。そこに上達の鍵があると思う。がんばる選手達の姿が、見るものに感動を与え、わたしたちの心を動かす。「応援したい」と言う強い思いが湧いてくる。

必要なのはチーム力である。野球はチームで戦う。一人だけ優れた選手がいても、勝つことはできないと思う。チームが「一丸」となり、同じ方向を見て進むことが大事だ。守備の面では、内野も外野も「一球」をどこに返すのか、受け取る選手は両手をあげて、選手を呼ぶ。そのライン上にいない選手も全員で参加する。勝敗はこの掛け声に込められた目に見えない結束力で決まると思う。プレー中の「一球」その「一球」に集中し声を掛け合う。攻撃も一緒だ。一人がバッターボックスに立つ。ファーストコーチャー、サードコーチャー、ネクストバッター、ベンチ、それぞれの持ち場で「一球」に「一丸」となって声をだそう。

そしてなによりも仲間を大事にしよう。今日という、もう二度と戻らない日を二度と戻らないからこそ、持てる力を発揮して、悔いのない様、歩んで行こう。